

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
1	<p>(子育て・教育)</p> <p>学校でのカメラ導入や保育園のカメラ導入、公立保育所が令和9年には全部なくなること、児童手当に所得制限条件が変わった、自衛隊への情報提供に関してなど、市民や通学通園所の者さえも把握できない案件が多くあるが、市はその現状をどう把握し、どう考えているのか？ 全て納得できないや、反対意見のある市民は違う街に引っ越せと言わんばかりの対応だと感じる。</p> <p>大人気の明石市のように市民本位で、市長が手腕を振るうなどして、子育て層を増やし、結果競艇繰り入れがなくても豊かな市の財政を循環していき、公的施設や教育の安心安全を保っていくつもりはないのか？</p> <p>質問事項としては、箕面市は今後どんな子どもを育て、どんな街にしていくのか？ どうなりたいのか？などを、市民協働やワーキンググループ会議といった形式で市民と市政が足並み揃えてやっていく気概はあるのか？ ないのか？ どちらにしても理由もお聞きしたいです。 よろしくお願いします。</p>	<p>(子ども未来創造局 教育政策室) (子ども未来創造局 保育幼稚園総務室)</p> <p>「箕面市は今後どんな子どもを育て、どんな街にしていくのか。どうなりたいのか。」については、「箕面市教育大綱」の基本方向を実現し、「子育て・教育日本一」を目指すとともに、子どもに関する取り組みについては、様々な方法で市民の皆様のご意見を取り入れて進めてまいります。</p> <p>一例として、住民の代表である市議会の承認を得て、現在の公立幼稚園・保育所8園所を再編し、地域バランスを考慮し「東部・中部・西部」の3地域に「保育所」と「幼稚園」の機能を併せ持つ「公立認定こども園」を設置します。更に、公立・民間や保育、幼稚園などの種別に捉われることなく、市内の就学前施設における保育・幼児教育を全体的にコーディネートし、更なる質の向上をめざす「保育・幼児教育センター」を開設しました。</p> <p><箕面市教育大綱の基本方向></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校教育 子どもたちの「生きる力」と「つながる力」を育みます。 ◆子育て施策 家庭・学校園所・地域で「つながる力」を育みます。 ◆生涯学習・社会教育 「いつでも・どこでも・だれでも、学びたいことを学ぶ」を育みます。 <p>(総務部 財政経営室)</p> <p>「市民と市政が足並み揃えてやっていく気概はあるのか。」については、市では、市政全体における政策の基本的事項を定める計画の策定や、市民の権利・義務に影響が生じる制度の制定において、市民の声をお聴きするため、パブリックコメントや各種アンケートをはじめ、様々な説明会やタウンミーティングなどを開催したり、審議会等に市民公募委員にご就任いただくなど、生の声を聴きながらまちづくりを進めてきたところです。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆さまの声にしっかり耳を傾けながら、市政運営に当たってまいります。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
2	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>延伸による路面バス網の整備時速20.30キロ速度制限的な規制または、道路段差をつけるなど。</p>	<p>(みどりまちづくり部 道路整備室)</p> <p>市道箕面今宮線の道路安全対策として、歩道の整備や車道の改良工事を今年度から計画していますが、これに伴う車両の速度超過への対策については警察と連携して検討を進めています。</p> <p>例として、路面に段差を設けるハンプ設置という手法がありますが、車両がハンプを通過する際に、騒音・振動が発生することや通行し易い住宅地内の道路へ交通の流れが変わる可能性があることから自治会や沿道住民の理解が必要となります。</p>
3	<p>(子育て・教育)</p> <p>幼保小中学校と高等教育、就労までの障害児教育の連携について箕面市としての取り組みをお聞かせください。</p>	<p>(子ども未来創造局 人権施策室)</p> <p>幼保小中学校の連携については、全市的には府立の支援学校を含めそれぞれの代表者が参加する支援連携協議会を開催するとともに、中学校区ごとでは、校区内のそれぞれの支援教育・保育担当者が集まる支援教育担当者会を開催し話し合いの機会を設けるなど、日頃から行っています。</p> <p>就学に向け支援が必要な子どもについては、小学校の支援担任等が幼稚園・保育所訪問等を行い、引き継ぎを丁寧に行っています。</p> <p>また、高校進学後も追指導として中学校の教員が高校を訪問し、学校での様子などを確認するようにしています。</p>
		<p>(健康福祉部 障害福祉室)</p> <p>箕面支援学校高等部と卒業生の進路について適宜連携を図っています。就職を希望するかたについては、豊能北障害者就業・生活支援センターを案内するなど必要に応じて関係機関との連携を図っています。</p>
4	<p>(子育て・教育)</p> <p>前回の議事録を拝見し公園の木々は問題ないとあったり、いろいろな課題に対して市民の気持ちとかけ離れている印象を受けました。どういう判断基準で行われてて、どの公園や設備と比較していらっしゃるのでしょうか？明確な基準はありますか？</p>	<p>(みどりまちづくり部 公園緑地室)</p> <p>桜南公園の樹木について、現地調査を踏まえて台風被害による植え替えを実施する予定がないと回答させていただいたものです。</p> <p>台風の倒木による植え替えの明確な基準はありませんが、被害状況に応じて個々に判断しております。</p>
5	<p>(健康寿命の延伸)</p> <p>教学の森・ハイキングコース整備に関し</p>	<p>(みどりまちづくり部 公園緑地室)</p> <p>(子ども未来創造局 青少年育成室)</p> <p>教学の森付近のハイキングコースについては、箕面市が維持管理を行っており、青少年教学の森野外活動センター施設内の歩道については、リニューアルに併せて一部改修を行いました。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
6	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>箕面全体の活性化に対する今後の方針と、新駅はもちろんですが既存の箕面駅などの周辺も改革の予定があるのかをお聞きしたいです。</p>	<p>(地域創造部 箕面営業室)</p> <p>箕面沿線の中心市街地の活性化を図るための基本的な方針や目標を定めた「第2次箕面市中心市街地活性化基本計画」に基づき、まちづくり組織の事業者等と連携しながらまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>ハード面の取り組みとしては、令和元年11月にみのおサンプラザ1号館の区分所有者らによって同建物の建て替え推進決議がなされ、今後の建て替えに向けて現在も検討が続けられています。</p> <p>ソフト面では、箕面山七日市や桜井マルシェといった地域活性化の取り組みが行われているほか、滝道周辺の建造物を活用した滝道観光振興が図られています。さらに現在、箕面市観光協会と協働し、地元商業者、観光事業者や行政などによる公民連携観光戦略会議を立ち上げ、阪急箕面沿線を含めた箕面市全体の観光のみならず商工業の振興に向けた戦略及びアクションプランを検討しています。</p> <p>今後も引き続き箕面商工会議所やまちづくり組織の事業者等と連携し、さらなる商工観光振興に取り組んでいきます。</p> <p>(みどりまちづくり部 道路整備室)</p> <p>桜井駅前広場については、今年度末の完成を目指して、一時駐車スペースやタクシー乗降場等を併せ持つ、交通安全性と利便性の高い駅前ロータリーの整備を進めていきます。</p> <p>現在、詳細の整備内容について地元自治会等からいただいたご意見をもとに精査しており、地元自治会等との調整を経て10月以降の工事着手を予定しています。</p> <p>令和4年度中には、桜井駅前のロータリーが供用開始される予定です。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
7	<p>(健康寿命の延伸)</p> <p>西南小学校の西側の歩道を北側の歩道のように幅を広くとり(運動場を削るなりして)、街路樹を伐採して(街路樹の根がボコボコしてる)、昼間でも夜でも安心安全にウォーキングができるようにして欲しいです。歩道は街路樹の為ではなく、歩く人の場所です。</p> <p>特に高齢者が安心安全に杖や手押し車等でも歩いて、また車椅子でも人と交差でき、保育園、中学、小学校の周りを一周以上ウォーキングができるようにして欲しいと思っています。</p> <p>日商岩井マンションの南側の歩道もとても歩き難く車道を手押し車の老人が病院やスーパーに行かれていて危険を感じています。</p> <p>折角の歩道が樹木で半分も占領されています。歩道は人のための道です。樹木を植える所ではありません。人が安心安全に歩ける歩道の整備をして欲しいと思っています。</p>	<p>(みどりまちづくり部 道路整備室)</p> <p>歩道における街路樹については、老木化・大木化することで歩道幅員を狭くし、歩行者の通行に支障をきたすケースがあります。</p> <p>そこで、自治会と沿道住民のご意見を伺いながら伐採するかどうかを慎重に判断しているところです。一例として、市道中央線の市役所前から中小学校前の区間において、歩行者・自転車・車両の安全な通行を目的として、地元自治会や沿道住民の方々に整備内容を説明し、ご理解を得たうえで伐採・撤去を実施しました。</p> <p>これからも街路樹による課題については、地元自治会と沿道住民の方々の意見を伺いながら取り組みを進めてまいります。なお、現時点では西南小学校の西側の歩道を拡幅する予定はありません。</p> <p>※今回の質問を受け、道路管理室職員が現地確認を行いました。直ちに補修が必要な状況ではありませんでした。なお、街路樹の伐採については、自治会からの要望は提出されていません。</p>
8	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>箕面文化・交流センターの解体が一年間延期されましたが、毎年開催の市民展(出品数350点~400点)などの大規模展示場がなくなってしまった。どうか代替りの施設を作ってから壊すのが都市計画ではないかと思えます。</p> <p>では、テーマになっている箕面沿線の活性化ですが、落ち着いた街並みを活かして文化と芸術の町を作ってほしい。例えば小規模の図書館とギャラリーを併設して身近な場所で本を借りたり美術作品を鑑賞出来たりする場所。例えば空き家を利用したり、地域の公共物件を改造したりで安価に手早く作れるのではないかと思います。</p> <p>箕面沿線の箕面・西小路・牧落・桜・桜井・半町・瀬川にはうってつけの場所や建物があるように思う。図書館とギャラリーを併設するのは担当者が一人ですみ、人員も削減出来ると思うからであります。</p> <p>以上</p>	<p>(子ども未来創造局 生涯学習・市民活動室)</p> <p>みのおサンプラザ1号館については、建替決議が可決されれば、工事期間中箕面文化・交流センターの利用ができなくなるため、代替施設の確保を検討しているところです。なお、代替施設は、公共施設再編によって、未利用となる公共施設を想定していますが、サンプラザ1号館内には多くの公共施設が入居していることから、ご記載の大規模な展示室の確保は困難な状況です。</p> <p>次に、空き家等を利用した文化と芸術の街のご提案ですが、市内にある公共施設を活用して、文化・芸術が鑑賞できるスペースの設置などを、市民のみなさまのご意見を伺いながら検討していきます。</p> <p>なお、令和5年度末には、北大阪急行線箕面船場阪大前駅に隣接する地下スペースにおいても、ギャラリーの設置を予定しています。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
9	(健康寿命の延伸) アドプト活動について	(みどりまちづくり部 公園緑地室) (みどりまちづくり部 道路管理室) 市では、公園で定期的に清掃や花壇管理を行う活動に対し、交付金を交付しています。現在、100を超えるシニアグループ、自治会、こども会、企業、そのほか有志団体などが、この交付金を利用して活動を行っています。自主管理活動は、公園などの美化のみならず、その活動を通して、さまざまな人との交流が生まれ、地域の輪が広がります。
10	(箕面沿線の活性化) サンプラザの今後について	(地域創造部 地域活性化室) みのおサンプラザについては、耐震診断した結果、基準を満たしていなかったため、区分所有者による建替推進決議を経て建替事業協力者を決定しました。 現在、区分所有者と事業協力者で、公共施設や商業店舗を含むマンションへの建替に向けて協議している最中です。 建替後や建替中の公共施設の配置についても並行して検討中です。市としては、建替後は、駅前に必要な公共施設を再配置する方向で検討しています。なお、工事期間中はご不便をおかけしますが、他の貸館施設等の代替施設の確保も併せて検討しています。
11	(箕面沿線の活性化) 上島市長になってから、市道中央線の市役所前～中小区間や、箕面駅前広場など、やたらと街路樹を切ったり、コンクリートやアスファルトで固めたりする整備が目につきます。そして今般また箕面今宮線（通称：桜通り）の桜を伐採して車道を広げる整備が行われようとしています。「沿線の活性化と緑の保全」や「“箕面らしさ”の維持と創出」について、上島市長はどう考えておられるのか、お聞かせ願えないでしょうか？	(みどりまちづくり部 道路整備室) 街路樹については、みどり豊かな住宅都市「みのお」を構成する重要な要素として認識しています。 一方で「車道や歩道に街路樹があることで、車両や歩行者の安心安全な通行に支障がある。」という意見を市民からいただくこともあります。 特に以前の基準によって開発された道路や歩道における街路樹が時を経て大木化・老木化し、現在の必要な歩道幅員を満たさない状況などが見受けられたり、台風の大型化によって倒木の頻度が増えるなど、街路樹による課題が増えている状況です。 そこで、市としては、自治会と沿道住民のみなさんのご意見を伺いながら、伐採・撤去するかどうかを慎重に判断しています。一例として、市道中央線の市役所前から中小学校前の区間において、歩行者・自転車・車両の安全な通行を目的として、地元自治会や沿道住民の方々に整備内容を説明し、ご理解を得たうえで伐採・撤去を実施しました。 これからも、みどりの保全と市民の安心・安全なくらしについて、バランスの取れた施策を進めてまいりたいと考えています。

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
12	<p>(子育て・教育)</p> <p>公立中学校での部活動を外部委託に移行予定とお聞きしています。 今後の具体的な計画をしりたいです。 部活動にはスポーツ能力の開発以外にも教育的要素が多々有ると感じておりましたが、その点を中学教育の中でどのように補填される計画かをお聞きしたいです。 宜しくお願ひいたします。</p>	<p>(子ども未来創造局 児童生徒指導室)</p> <p>令和4年度は、スポーツ庁の運動部活動地域移行事業を受託し、モデル実施を行っています。一部の学校の一部の部活動は、休日の部活動を学校から地域に切り離し、技術力向上を目的とした「クリニック」を開き、子どもたちにスポーツの機会を提供します。令和5年度以降は徐々に活動するスポーツを広げて行く予定です。 教育的要素については、学校教育活動においても日頃から社会生活の基盤を養う活動や、他者との関わりを通して他者理解、多様性教育など、多く学ぶことができていると考えています。 「クリニック」については専門的な指導ができる指導者を充てます。専門的な知識、技術を持った方から指導を受けることで、子どもたちがスポーツを通して目標を達成することの「楽しさ」「充実感」などを味わい、学ぶことができると考えています。</p>
13	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>今年から、箕面市内の大学生含む10代～20代の若者で、お手軽家事代行というサービスを始めました。5分100円～と小さな単位から頼める家事代行で、電球を替えてほしい、スーパーに行く間子供を見てほしい、などちょっとしたことから頼めます。実際、ハシゴを登って電球を替えてほしい、塾へお弁当を届けてほしいなど様々にご依頼いただいております。主にご高齢の方と小さな子を育てるお母様やお父様からのご相談が多くなっています。一方、スタッフは箕面市内に住む10代～20代の若者に限定しており、依頼が入った時のみご依頼者様の場所へ派遣するシステムにしています。学校や資格の勉強をしながら稼ぐ方法として適していると評価を得ています。 また、ご依頼者様からも大変好評をいただいております。特に、昼間は1人で全てのお子様の面倒を見なければならぬお母様、単独世帯の方、ご高齢でご子息などが近くにいらっしゃらない方から、このサービスのおかげで毎日の生活がとても心強いとお声をいただいております。まだまだ規模は小さいのですが、このサービスこそが地域の繋がりを生み、子育てしやすい環境、ご高齢でも安心して住める環境、を作り出せる手段だと思っています。 この価値のあるサービスを、早く広めようと日々奮闘している途中ではありますが、さらなる加速のため、市長のお力を借りられないでしょうか。</p>	<p>(健康福祉部 地域包括ケア室)</p> <p>本市では、社会福祉協議会への委託により、住民とともに地域づくりを進める拠点として「ささえあいステーション」を市内全域の14小学校区に設置し、「住民が主体、住民が主役の地域の支え合い体制の構築」を進めています。 ご紹介いただいた取組についても、「住民主体のささえあい活動」の一つとして、ささえあいステーションの取組のなかで、情報共有できればと思いますので、詳細についてお知らせいただければと思います。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
14	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>池田から桜井駅周辺に延びる計画が中止になったと聞いた。それはなぜか？ すでに協力済みの家もあり中途半端な状態をどう考える？ この計画は桜井駅周辺の活性化の為には必要と考える。 箕面市から池田市への働きかけは不可能か？ その価値は十分あると考える。</p>	<p>(みどりまちづくり部 まちづくり政策室)</p> <p>都市計画道路桜井石橋線については、池田市側に繋がる都市計画道路(旧石橋駅裏線)が平成26年8月に廃止されており、桜井石橋線(都市計画道路瀬川新稲線以西)から繋がる道路がないため廃止するとともに、桜井駅に繋がる区間(瀬川新稲線以東)について幅員を16mから12mに縮小する内容で、令和4年3月に都市計画を変更しました。</p> <p>また、これまで都市計画道路として決定された区域内には、都市計画法に基づき、「階数が2以下で、かつ、地階を有しないこと」や、「主要構造物が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造その他これらに類する構造であること」などの建築行為の制限がありましたが、都市計画道路が廃止されたことによりこれらの制限がなくなるため、今後当該区域で建築行為を行う際には、これまで以上により柔軟な計画が可能となります。</p> <p>桜井石橋線が国道171号から瀬川新稲線まで繋がることで、桜井駅へのアクセス性も向上し桜井駅周辺の活性化にも資するものと考えています。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
15	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>「活性化」と言葉だけが独り歩きしており、その中身が明確でない、はっきりしない、人により異なっているはず。活性化がなぜ必要なのか？誰の為に必要なのか？必要な理由を具体的な事実、データで示して欲しい。</p> <p>一例：箕面地区の年代別人口推移過去20年と今後の予想（年齢区分別-生産年齢とその他）、阪急電車の各駅の乗降客推移過去20年（通勤・通学定期券とそれ以外の一般・ハイキング、観光客との区別）、また、活性化の度合いを測るファクターは何か？</p> <p>サンプルラザ1号・2号館の店がほとんど閉まっている理由は何故か？</p> <p>歴史的に箕面線沿線は良好な環境の住宅地供給で発展してきた、しかし、近年はミニ開発、街路樹伐採等で住宅地としての価値が損なわれてきている点を忘れてはならない。原点に戻り、鉄道沿線の良好な住宅環境、住宅の供給を優先すべきではないか。</p>	<p>(地域創造部 箕面営業室)</p> <p>第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市の人口推移については、「今後の将来人口を推計すると、人口は2025年まで増加し、14万3千人に達する見込みとなります。2025年以降は、新市街地の開発が完了することに伴い、人口の流入ペースが落ち着くことで、全国傾向と同じく人口は減少していきませんが、今後25年間は現在の人口を下回ることはいないと見込まれます。」としています。</p> <p>実際のデータとしては、本市の人口はこれまで微増傾向にあり（平成18年度126,783人、平成25年度134,454人、令和2年度138,792人）、内訳として、本市全体における年少人口比率（14歳以下の人口割合）は微増しており（平成18年度14.0%、平成25年度14.9%、令和2年度15.1%）、高齢者人口比率（65歳以上の人口割合）は増加しています（平成18年度18.2%、平成25年度22.8%、令和2年度25.4%）。</p> <p>一方、本市が中心市街地として位置づける箕面地区や桜井地区では、年少人口比率は市域全体と比較すると低く（平成18年度12.7%、平成25年度13.1%、令和2年度13.1%）、高齢者人口比率は高く（平成18年度20.9%、平成25年度26.2%、令和2年度29.0%）、高齢化が進展しています。</p> <p>そのような状況下で、令和5年度に北大阪急行線が延伸することで、本市の魅力がさらに向上する一方で、都市構造の変化が中心市街地である阪急箕面線沿線にもインパクトを与えると予想されます。中心市街地を取り巻く新たな課題や社会情勢の変化に対応するためにも、阪急箕面線沿線の活性化が必要と考えています。少子高齢化による人口減少に伴う社会経済的な影響を抑えるため、子育て世代の流入促進や出産しやすい環境整備など子育て支援施策の効果的な実施により人口増の好循環を生み出し、またバス路線網の再編による公共交通利便性の向上により、住宅都市の魅力を向上させることで、人口増加、人口維持へとつながると考えています。定住、移住による阪急箕面線沿線の活性化は、沿線にお住まいのかただけでなく、事業者や観光客等、阪急箕面線沿線に関係される全てのかたにとっても重要と考えています。</p> <p>また、第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略において施策効果を把握するためのKPI（重要業績評価指標）を設定し、施策ごとの進捗状況を検証していきます。</p> <p>なお、みのおサンプルラザ1号館・2号館の店舗が一部閉まっていることについて、各々の店舗ごとに閉店理由があると考えますが、令和元年11月にみのおサンプルラザ1号館の区分所有者らによって同建物の建て替え推進決議がなされ、今後の建て替えに向けて現在も検討が続けられているなど、まちの活性化に向けた動きが行われています。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
		<p>質問にあるように、本市は歴史的に良好な住環境を整え、発展してきました。東洋経済「住みよさランキング2022」において本市は府内2位、近畿4位（全国でも812市区中40位）となっており、今なお良好な住環境としての価値を維持し、発展させています。この評価は、本市が定住促進に向け、子育て支援、防災・防犯対策、交通網の整備、商工観光の振興による地域活性など、市全域における各種施策を実施してきた成果と考えます。</p> <p>阪急箕面線沿線における取り組みとして、ハード面では、令和4年度中には桜井駅前のロータリーが供用開始される予定です。ソフト面では、箕面山七日市や桜井マルシェといった地域活性化の取り組みが行われているほか、滝道周辺の建造物を活用した滝道観光振興が図られています。また、箕面市観光協会と協働し、地元商業者、観光事業者や行政などによる公民連携観光戦略会議を立ち上げ、阪急箕面線沿線を含めた箕面市全体の観光のみならず商工業の振興に向けた戦略及びアクションプランを検討しています。</p> <p>今後も市民意識調査や商業者向けアンケート、来訪者向けアンケート等の実施や、上記の各取り組みへの参加者数推移の確認など、様々な手法で活性化の度合いを測りつつ、社会情勢の変化に柔軟に対応したまちづくりに取り組みます。</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
16	<p>(箕面沿線の活性化)</p> <p>箕面沿線の活性化には、観光客ではなく、箕面に居を構える住民が中心になるべきです。</p> <p>市長は、前回のタウンホールミーティングにおいて箕面沿線の利用者数減少の資料を提示、観光客を増やさなければいけないと、駅前広場を観光バス向けの駐車場に、箕面大滝大日駐駐車場に多額費用をかけて「観光バスのツアー」を打ち出していました。更には、主催者が中止になりましたが、箕面イルミネージュも企画されるなど、都市部と住宅部を勘違いした企画がされる街になっています。</p> <p>事実としては、過去20年間（2000年→2019年）の阪急箕面沿線の観光客は大幅には減少しておらず、利用者数の増加は一般利用者は900人減に対して、定期利用者は2200人減と居住者が減少していることが大きな要因です。（一般利用者（観光客等）は箕面駅で600人減（5600→5000）、牧落駅は100人増（1800→1900）、桜井駅は400人減（2300→2700））</p> <p>（定期利用者（通学・通勤）は、箕面駅1700人減（5300→3600）、牧落駅変化なし（2500→2500）、桜井駅500人減（3900→3400）です。特に箕面駅は一部上場企業の社宅の廃止に伴い定期利用者が減少、労働人口の減少もあり大幅に減少）</p> <p>箕面の街づくりには税収入あってこそです。</p> <p>箕面観光は自然を満喫する史跡のため観光客が地元へと経済効果は限定的です。市民1世帯が箕面に居を構えてもらい長く居住してもらうのが一番です。箕面に住む方は山並み、緑豊かな居住環境を求めていることアンケートでも明確です。</p> <p>ただ、今箕面駅近辺に、居住しているひとは駅前の観光客向けのバス駐車を横目に、家族の車での送迎をロータリーの隅っこでせざるをえない状況です、誰が税金を払っているのでしょうか。箕面を候補に住宅を見に来た人が、駅前ロータリーのアミューズメント施設の駐車場の様相、サンプラザ、箕面商店街の寂れ具合をみたら、おしゃれな街から生活感のない街に感じます。それも、多くの若い家族は西宮北口などに住むのです。</p> <p>サンプラザは十分な1号館、2号館ともに十分なハードウェアです。長年再開発の雰囲気だけを出し20年、30年強。ロイヤルエースが撤退後に地元住民もサンプラザに入館したことがある人は少ないのではないのでしょうか。</p> <p>市が考えるべきは、箕面のが義務教育を過ごした人が戻ってくる自然環境豊かな住環境、新しく関西転勤してきたお勤めの方の取込みできる魅力ある街づくり（商業施設、スポーツ施設）そのための施策が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>なぜ観光ばかりフォーカスするのか、市長肝いりの箕面駅前ロータリーバス駐車場の収入、</p>	<p>(地域創造部 箕面営業室)</p> <p>環境省調べによる「明治の森箕面国定公園利用者数」推移によると、2000年の利用者数は255万人で、2019年の利用者数は152万人となっており、103万人減となっており、観光客の大幅な減少は明らかです。</p> <p>ご意見の通り、箕面市としても本市に魅力を感じ移住・定住していただくことが最終目標と考えています。そのためには、まずは観光や旅行で箕面市に足を運んでもらい、豊かな自然を始めとした魅力を感じてもらうことが重要だと考えています。</p> <p>観光客を誘客することでマイカー渋滞が発生し、市民生活にも影響を与える可能性があります。そのため、箕面駅前と大日駐駐車場に大型観光バス駐車場及びバス乗降場を整備し、観光客の利便性を高めることにより、大量輸送による観光客の増加とマイカー渋滞の抑制を図ります。</p> <p>駅前の大型観光バス駐車場は、ツアー誘致やマイカー渋滞の緩和が目的であることから、駐車料金及び乗降場の利用については無料としています。利用実績としては、今年度は7月末時点で17台となっています。なお、バス・観光事業者の手間を簡素化させるため、乗降場の利用のみの場合は予約等が不要なため集計はしておらず、把握していません。</p> <p>箕面駅前の大型観光バス駐車場は、元々噴水跡の未利用地でした。市有地を有効活用できていない状況でしたが、豊かな自然を始めとした魅力を多くのかたに感じてもらうため、大型観光バス駐車場として利活用をしたものです。障害者の利便性を向上するため、障害者乗降用スペースも併せて整備しています。</p> <p>観光客がもたらす経済効果については、大手旅行会社の試算によると、一般的な2時間の日帰り旅行における1人あたりの消費金額は約4,000円と言われており、これを元に昨年度に箕面駅前大型観光バス駐車場を活用して実施した「箕面紅葉狩りバスツアー」における経済波及効果を計算すると、約1,450万円にのぼります。本市は、定住促進による安定した税収の確保のみならず、商工観光の振興に伴う経済波及効果の確保にも努めていきます。</p> <p>ハード整備における大型観光バス駐車場の設置は、これからの本市における商工観光の振興に大きく寄与するものと考えています。</p> <p>なお、ソフト事業としては、現在、箕面市観光協会と協働し、地元商業者、観光事業者や行政などによる公民連携観光戦略会議を立ち上げ、阪急箕面沿線を含めた箕面市全体の観光のみならず商工業の振興に向けた戦略及びアクションプランを検討しています。</p> <p>そのほか、定住促進に向けた活動としては、阪急電車「大阪梅田駅」や「西宮北口駅」及び住宅展示場等で実施しているシティプロモ-</p>

西部校区タウンミーティング 事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
	<p>費用、利用バス数を提示して、箕面市外住民を箕面に誘致する活動、箕面エリア（箕面駅、牧落駅、桜井駅）、サンプラザを軸にした箕面駅の活性化、をどのように考えているのか教えてください。</p>	<p>ション活動において、子育てのしやすさや四季折々の自然豊かな住環境をPRしています。</p>